



# 気象庁 福岡管区気象台



## ☀ 気象庁の仕事 ☀

§ 技官 § [福岡管内の職員数 約470名]  
九州地方(山口県を含む)を対象に、警報・注意報等の防災気象情報の発表、天気予報、気象観測、航空気象予報・観測、地震・津波・火山の監視と防災情報の発表、気象通信業務、調査・統計業務を主に行っています。また、平時からの自治体との連携強化を通じて地域防災支援を推進しています。

§ 事務官 § [福岡管内の職員数 約50名]  
主な仕事内容は、総務と会計に大きく分かれます。総務では、職員の人事管理、給与、福利厚生等の事務を行っています。会計では、予算の管理、物品・国有財産の管理、工事及び物品購入等の契約事務を行っています。

※職員数は令和7年11月1日現在

## 🌀 採用区分 🌀

大卒:一般職 [ 行政九州、教養九州、  
物理、デジタル・電気・電子、化学、土木、  
農学、農業農村工学、林学 ]  
高卒:一般職 [ 技術九州 ]

## ↑ 採用に関するお問い合わせ ↑

〒810-0052  
福岡市中央区大濠1丁目2-36  
福岡管区気象台 総務部総務課人事係  
☎(092)-725-3601

<https://www.data.jma.go.jp/fukuoka/index.html>

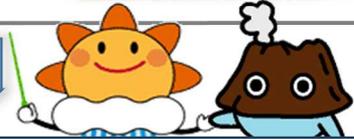
↓web サイト二次元コードはこちら！



## ☁ 勤務地・転勤・昇進 ☁

管内の勤務地は、福岡管区気象台、各県の地方気象台、測候所があり、北は山口県の下関地方気象台から南は鹿児島県の名瀬測候所までです。2~3年ごとに部署内異動も含めた人事異動がありますが、希望や能力、実績等により、本庁(東京)や全国の官署に転勤する場合があります。本人の能力と経験に応じて、係長・予報官・課長等に昇進していきます。

## 先輩からのメッセージ



令和5年4月に福岡管区気象台総務部総務課に採用され、1、2年目は文書係として文書管理や庁舎管理、秘書業務等、現在は給与係として職員の給与や手当支給の業務を行っています。また、イベント等に参加すると防災業務にも携わることができ、自分の可能性を広げることのできる魅力的な職場だと感じます。ぜひ一緒に気象台で働いてみませんか。お待ちしております!【一般職(大卒)行政九州区分】

令和6年10月に採用され、福岡管区気象台気象防災部地域火山監視・警報センターに配属されました。主に、火山監視業務に携わっており、火山性地震の波形検測業務や遠望監視、観測機器の点検や現地調査などを行っています。気象庁では、気象だけでなく地震や火山に関する業務もあるので少しでも興味のある方は、ぜひ一緒に気象庁で働いてみませんか。【一般職(大卒)物理区分】



令和6年4月に採用され、熊本地方気象台に配属されました。主に観測予報業務、気象防災に関する普及啓発活動、通信業務など幅広い業務に携わっています。人の命に関わる情報を扱うため、とても責任と緊張感のある仕事ですが、その分大きなやりがいを感じています。普段何気なく目にしている気象情報や天気予報に直接関わることができることも魅力の一つです。気象の知識がなくても入庁後の研修や勉強会が充実しているため心配はいりません。少しでも気象庁の仕事に興味がある方は、ぜひ業務説明会に参加してみてください。【一般職(高卒)技術九州区分】